

〇〇保育所照明設備改修工事

委託仕様書の「8 業務の詳細 (2) 指示業務 ア改修工事に関する設計業務」など指示業務関連部分を確認のうえ、価格提案を行ってください。

【参考資料】

- ・ 内訳明細書
- ・ 設計図

〇〇保育所照明設備改修工事

内訳明細書（参考）

工事名称 ○○保育所照明設備改修工事

工事場所 大阪市

単価（ :採用）

改修工事の分類 全館無人改修単価 執務並行改修単価

大阪市週休2日工事 4週8休単価 補正無単価

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-1	台	1					代価表 0001
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.227	1.2				LRS3-2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	LED照明器具	SP-2	台	1					代価表 0002
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.178	1.2				LSS1-4 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-3	台	1					代価表 0003
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.266	1.2				LRS6-4 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	LED照明器具	SP-4	台	1					代価表 0004
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.332	1.2				LRS3-4 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-5	台	1					代価表 0005
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.332	1.2				LRS3-4 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	LED照明器具	SP-6	台	1					代価表 0006
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.117	1.2				LSS1-2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-7	台	1					代価表 0007
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.209	1.2				LRS1 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	LED照明器具	SP-8	台	1					代価表 0008
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.13	1.2				LBF2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-9	台	1					代価表 0009
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.13	1.2				LBF2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	LED照明器具	SP-10	台	1					代価表 0010
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.13	1.2				LBF2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	LED照明器具	SP-11	台	1					代価表 0011
01	LED照明器具		台	1	0.45				見積比較表
02	雑材料		式	1	0.05				
			K01						
03	電工		人	0.13	1.2				LBF2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								

代価表

その他											
NO	名称	摘要		単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考	
	タプスイッチ (金属プレート付)	1P 15A ×1	ネーム付	個	1					代価表 0012	
		3W L 15A ×1	ネーム付								
01	タプスイッチ	1P 15A ×1	ネーム付	個	1	1				建設物価 ○年○月○	
		-	-	個							
02	タプスイッチ	3W L 15A ×1	ネーム付	個	1	1				建設物価 ○年○月○	
		-	-	個							
03	取付枠			枚	1	1				建設物価 ○年○月○	
				枚							
04	ステンレスプレート	穴数 1~3		枚	1	1				建設物価 ○年○月○	
				枚							
05	雑材料			式	1	0.02					
				式							
				K01+K02+K03+K04							
06	電気			人	0.097	1.2			○		
				人							
	その他			式	1	0.25					
				式							
	計										

代価表

その他											
NO	名称	摘要		単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考	
	タプスイッチ (金属プレート付)	3W 15A ×1	ネーム付	個	1					代価表 0013	
		4W 15A ×1	ネーム付								
01	タプスイッチ	3W 15A ×1	ネーム付	個	1	1				建設物価 ○年○月○	
		-	-	個							
02	タプスイッチ	4W 15A ×1	ネーム付	個	1	1				建設物価 ○年○月○	
		-	-	個							
03	取付枠			枚	1	1				建設物価 ○年○月○	
				枚							
04	ステンレスプレート	穴数 1~3		枚	1	1				建設物価 ○年○月○	
				枚							
05	雑材料			式	1	0.02					
				式							
				K01+K02+K03+K04							
06	電気			人	0.105	1.2			○		
				人							
	その他			式	1	0.25					
				式							
	計										

○は「その他」の率対象

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	調光スイッチ (樹脂プレート付)	LED用 R-列式 1Pスイッチ付 AC100V	個	1					代価表 0014
01	調光スイッチ	LED用 R-列式 1Pスイッチ付 AC100V 160VA 取付枠共	個	1	0.6				見積比較表
02	ワイドスイッチプレート	1連用 樹脂製	枚	1	1				建設物価 ○年○月○日
03	雑材料		式	1	0.02				
			K01+K02						
04	電工		人	0.081	1.2				1P15A x 2 相当
	その他		式	1	0.25				
	計								
	廃棄物処分費	ランプ類	式	1					代価表 0015
01	ランプリサイクル	FL20W	本	26	1				
02	ランプリサイクル	FL32W	本	122	1				
03	ランプリサイクル	FCL20W	本	8	1				
04	ランプリサイクル	HID200W	本	6	1				
	計								

代価表

その他									
NO	名称	摘要	単位	数量	乗率	単価	金額	率対象	備考
	収集運搬費		式	1					代価表 0016
01	収集運搬費	2tダンプ車	運転日	1	1				
	計								
	撤去費		式	1					代価表 0017
01	電工		人	12.1482	1				
	その他		式	1	0.25				
	計								
	墜落制止用器具費		式	1					代価表 0018
01	墜落制止用器具費 月額損料(差額分)	電気設備工事 改修工事	月	6	1				
	計								

図番	縮尺	形状、規格	配管サイズ	区分	合計	1F																																	
						通り	庭	階段	倉庫1	前室	調理室	下処理	前室	休憩室	便所	職員室	更衣室	便所	ウッドデッキ	テラス	4才	5才	便所1	倉庫2	屋外	調乳	0才	1才	便所2										
LED照明器具	LRS1-08 LN				7.0									1.0											1.0														
	LRS1RP-08 LN				1.0	1.0																																	
	LRS1RP-17 LN				4.0	4.0																																	
	LRS3-4-65 LN				21.0																																		
	LRS6-4-23 LN				5.0																																		
	LSS9-2-15 LN				1.0				1.0																														
	LSS9-2-30 LN																																						
	LSS9-4-23 LN				2.0																																		
	LSS9-4-65 LN																																						
	LSS9MP/RP-4-64 LN				7.0						6.0	1.0																											
	LBF3MP/RP-4-20 LN				9.0				2.0																														
	SP-1				3.0	1.0																																	
	SP-2				1.0						1.0																												
	SP-3																																						
	SP-4																																						
	SP-5				4.0																																		
	SP-6				1.0									1.0																									
	SP-7																																						
	SP-8																																						
	SP-9																																						
	SP-10				6.0	4.0																																	
	SP-11				1.0				1.0																														
埋込スイッチ	1P15A ×1				6.0				1.0	1.0			1.0																										
	1P15A ×2				5.0					1.0			1.0																										
	1P15A ×3																																						
	1P15A ×6																																						
	3W15A ×1				2.0				1.0																														
	3W15A ×2				1.0				1.0																														
	4W15A ×1																																						
	1P15A ×1 1P15A L ×1				4.0						1.0			1.0																									
	1P15A ×2 1P15A L ×1				1.0																																		
	1P15A ×3 1P15A L ×1				4.0																																		
	1P15A ×1 3W15A ×1																																						
	1P15A ×1 3W15A L ×1				2.0																																		
	3W15A ×1 4W15A ×1				1.0	1.0																																	
調光スイッチ	LED用																																						

工事名称 ○○保育所照明設備改修工事

工事種目 集計表 1 / 1

施工	隠蔽	露出	地中	転がし	管路	PF管路	FEP管路	ビッド内	ラック	ダクト	ステップ	サドル	メッセン
区分	イ	ロ	チ	コ	カ	PF	FEP	ピ	ラ	ダ	ス	サ	メ

P.

図番	縮尺	名称	摘要	施行区分														電工		撤去		電工		
					1F	2F															合計	歩掛	補正率	歩掛
照明器具	FDL	13W	埋込	6.0													6.0	0.0627					0.3762	
	FDL	27W	埋込	2.0													2.0	0.0627					0.1254	
	FDL	42W	埋込	4.0													4.0	0.0627					0.2508	
	FL	20W×1	露出	1.0	1.0												2.0	0.0390					0.0780	
	FL	20W×2	露出		1.0												1.0	0.0490					0.0495	
	FL	20W×2	埋込	3.0	1.0												4.0	0.0750					0.3024	
	Hf	32W×1	露出	3.0													3.0	0.0627					0.1881	
	Hf	32W×1	埋込	5.0	8.0												13.0	0.0930					1.2207	
	Hf	32W×2	露出	7.0	1.0												8.0	0.0780					0.6264	
	Hf	32W×2	埋込	25.0	20.0												45.0	0.1170					5.2650	
	FL	20W×4	露出		1.0												1.0	0.0450					0.0459	
	FBC	20W×1	露出	9.0	1.0												10.0	0.0390					0.3900	
	FCL	32W×2	露出	1.0													1.0	0.0450					0.0459	
	FHT	16W×2	露出	1.0	2.0												3.0	0.0450					0.1350	
	IL	100W×1	埋込		17.0												17.0	0.0627					1.0659	
	スポット	100W×1	露出		5.0												5.0	0.0390					0.1950	
	水銀	100W×1	露出	6.0													6.0	0.0990					0.5940	
埋込スイッチ	1P15A	×1		6.0	5.0												11.0	0.0540			0.3		0.1782	
	1P15A	×2		5.0	3.0												8.0	0.0810			0.3		0.1944	
	1P15A	×3			3.0												3.0	0.1080			0.3		0.0972	
	1P15A	×6			1.0												1.0	0.1890			0.3		0.0567	
	3W15A	×1		2.0													2.0	0.0700			0.3		0.0420	
	3W15A	×2		1.0	1.0												2.0	0.1050			0.3		0.0630	
	4W15A	×1			1.0												1.0	0.0700			0.3		0.0210	
	1P15A	×1	1P15A L ×1	4.0	1.0												5.0	0.0810			0.3		0.1215	
	1P15A	×2	1P15A L ×1	1.0													1.0	0.1080			0.3		0.0324	
	1P15A	×3	1P15A L ×1	4.0													4.0	0.1350			0.3		0.1620	
	1P15A	×1	3W15A ×1		1.0												1.0	0.0970			0.3		0.0291	
	1P15A	×1	3W15A L ×1	2.0	2.0												4.0	0.0970			0.3		0.1164	
	3W15A	×1	4W15A ×1	1.0													1.0	0.1050			0.3		0.0315	
	白熱灯用				2.0												2.0	0.0810			0.3		0.0486	
【撤去の合計】																		(普通工)		(電工)		12.14820		

工 事 概 要

付 近 見 取 図

施設名称 ○○保育所

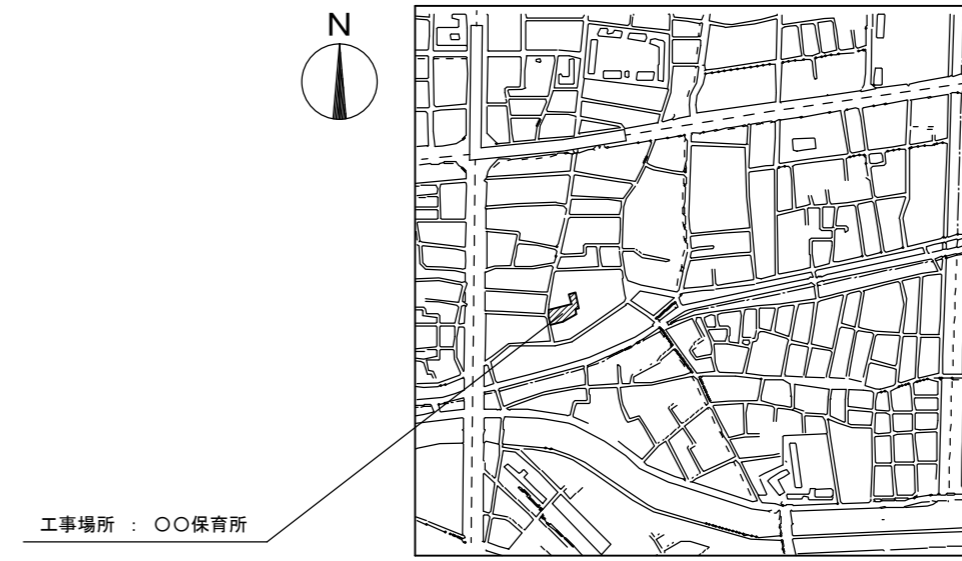
所在地 大阪市

電話番号

工事内容 本工事は、照明設備改修工事を行う。

一 般 事 項

1. 本工事は、学校または施設運営中の工事であり、学校授業または施設営業、諸行事により作業時間、作業場所、工事騒音、その他規制が予想される為、事前に学校側または施設側と十分な打合せのうえ施工すること。
2. 工事の着手に先立ち現場調査及び実測を行うこと。その結果、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員に通知すること。
3. 既設建築物及び設備等に傷を付けないよう注意し、万一破損した場合は、速やかに原形復旧すること。
4. 本工事に伴う関係法令、法規による手続きが必要な場合は、速やかに行い、その費用も本工事に含むものとする。
5. 安全対策については、現場の状況に応じて適切な方法を講じること。
6. 受注者は、保護帽を着用のこと。また、腕章・名札等により工事関係者であることを明確にすること。
7. 工事車両駐車場及び資材置き場については、監督職員と協議のうえ決定し、使用後は原状に復旧すること。
8. 車両入場において、学校または施設周辺道路の規制等を順守し、工事車両の進入及び工事に際し近隣住宅、学校または施設利用者等の安全について十分に注意すること。
9. 別契約の関連する工事との施工時期及び施工の取合い等は、別途契約受注者と十分な打合せを行うこと。
10. 学校または施設等が他受注者と別途契約した工事と本工事の工事期間が重複する場合においては、それぞれの工事の妨げとならないよう相互に工事上の配慮・協力を行うこと。

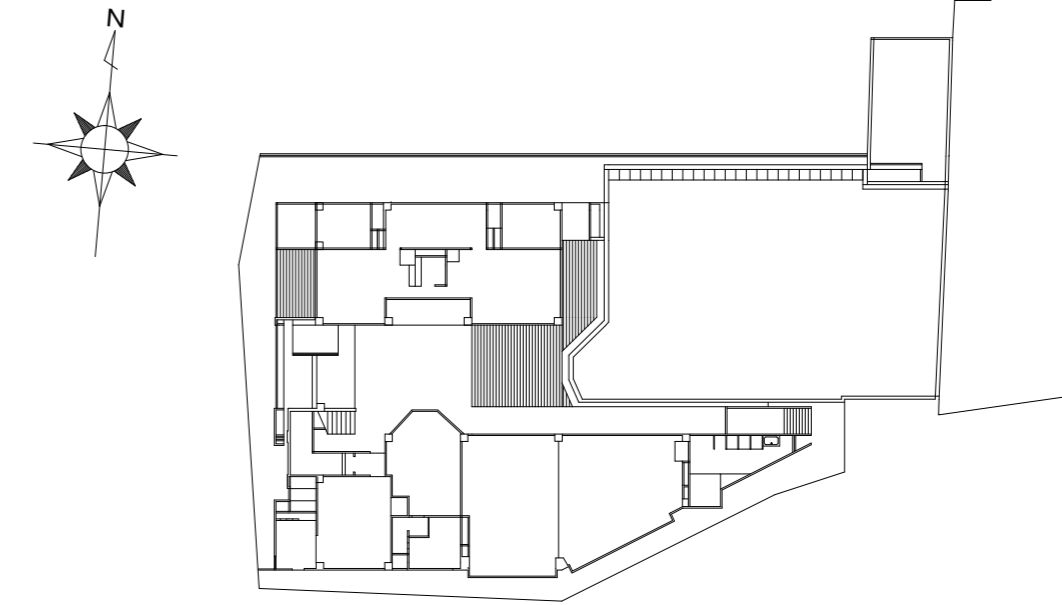


配 置 図

工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲での施工について（注意事項）

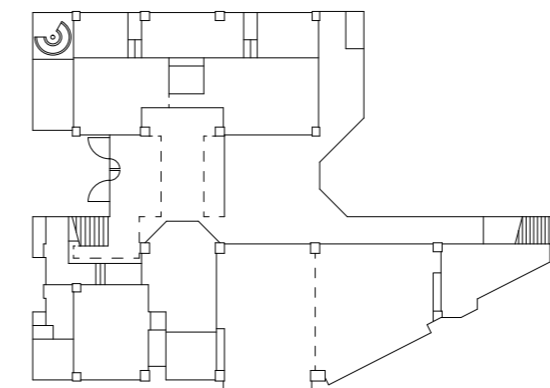
使用中の学校または施設で夜間や休日に施工する場合など、工事範囲と工事期間中に学校または施設利用者が使用する範囲が重なる工事においては、特に安全管理の徹底を図り、以下のような点について留意すること。

1. 高所や天井などに取り付ける資機材については落下の危険性に特に注意すること。
2. 仮囲いなどは容易に開閉ができないようにすること。
3. 作業終了後には、工具や資機材を施設利用者が使用する範囲内に残置しないこと。また、機器、配線、配管等を仮止めや半固定の状態で残置しないこと。

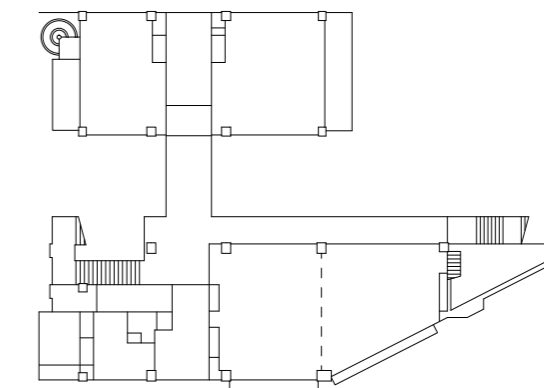


特 記 事 項

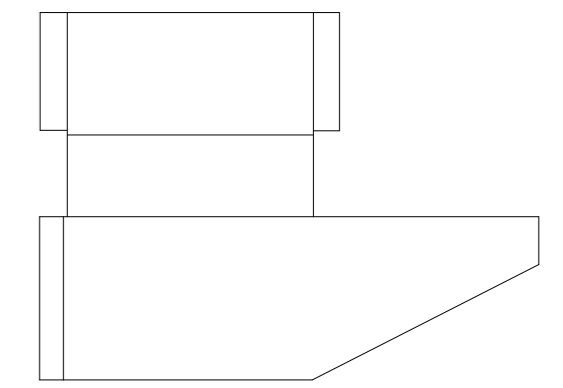
- 1) 保育所内の工事は、原則として園児のいない状態での作業を基本とし、作業時には作業箇所にビニールシートなどで適切な養生を行うこと。また、工事後、園児等にけがなど起きないように清掃を行うこと。
- 2) 施設内に工事車両の駐車ができない場合は、近隣の有料駐車場を利用し、その費用は本工事に含む。



1F



2F



RF

工事名称	○○保育所照明設備改修工事	令和	年度
図面名称	工事概要・配置図・付近見取図	図面サイズ	A2
縮 尺	—	図面番号	No. 1 (9 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所	

電気設備工事特記仕様書
(1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版(以下「標準仕様書」という。)...
(2) 項目欄の(1)1、2、3は、標仕第1編、第1章、第2節、3項を表す。
(3) 本特記仕様書で、印がつけられている事項は本工事に適用する。
(4) 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達物品を示す。

工事用電力・水その他
(1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署への手続き等の費用は受注者の負担とする。
(2) 工事用の仮設電気を使用する場合、工事責任者は使用する電動工具等の機器類の安全性を確認した後、漏電遮断器付コードリール等を使用する。
機材等の検査及び試験
検査及び試験を行うべき機材は、「標仕」による。
工事検査と管理
(a) 工事検査前には、必ず受注者において、施工内容がすべて設計図書に適合することを確認し、試運転調整、性能測定等を行い、その結果を監督職員に提出する。
建設副産物の発生処理及び再利用の促進等
(1) 受注者は、建設副産物の処理に際し、「資源有効利用促進法」「建設リサイクル法」及び「廃棄物処理法」並びにこれらに基づく条例等に従って適正に処理し、市民生活の環境保全と公衆衛生の向上に努めなければならない。

建築用工具器具の使用(フルハネス使用)
「墮落制止用器具の安全使用に関するガイドライン」による
完成図
要・原図 1部 (原寸)
複写図 2部 (原寸背張り製本)
埋設配管図
校園工事の場合、工事完成時、建築でまとめる埋設配管図に、今回工事範囲の敷地埋設配管図を書き込む。
別契約の関連工事
工事内容
表: 工事内容表 (梁、床、壁貫通スリプ入れ、天井開口、機器の取付枠、配管等)
配管図
表: 配管図表 (記号、名称、凡例)
耐震措置
(1) 耐震措置の計算及び施工方法は、標準仕様書、標準図及び図示以外は、「建築設備耐震設計・施工指針」による。
重要機器(水槽類)は、下記による。
風圧力に対する性能
表: 風圧力に対する性能表 (V, Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ)

風圧力(耐風力)
建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検封(計算)書を監督職員に提出する。
配線の色別(盤内も含む)
表: 配線の色別表 (高圧回路, 低圧回路, 三相回路)
室内導体の色別方法
表: 室内導体の色別方法表 (導体色, 色別方法)
表示灯の色別
表: 表示灯の色別表 (電源, 入り, 切り, 高圧, 低圧, 満減水, 消防)
機器類の取付高さ
表: 機器類の取付高さ表 (名称, 測定, 標準取付高)

工事名称: ○○保育所照明設備改修工事 令和年度
図面名称: 電気設備工事特記仕様書(1) 図面サイズ: A2
縮尺: — 図面番号: No. 2 (9枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課 設計事務所

章 項 目	特 記 事 項									
接 地 抵 抗 値	接地抵抗値は、次による。 (1) A種接地工事 ----- 5Ω以下 (2) B種接地工事 ----- 変圧器の高圧側または特別高圧側電路の1線地絡電流アンペア数で300を除いた値に等しいΩ数以下、ただし、75Ω以下とし、5Ω未満とすることを要しない。 (3) C種接地工事 ----- 5Ω以下 (4) D種接地工事 ----- 50Ω以下									
	電線・ケーブルの行先表示等	電線、ケーブルの要所には、合成樹脂製、ファイバー製等の表示札を取付け、回路の種別、行先、ケーブルの種類サイズ等を表示する。								
	制 御 ス イ ッ チ	制御スイッチ本体の色及び配列は、次による。 <table border="1"> <tr> <td>スイッチの使用区分</td> <td>色及び配列</td> </tr> <tr> <td>入り(ON)</td> <td>黒色・上側又は右側</td> </tr> <tr> <td>切り(OFF)</td> <td>赤色・下側又は左側</td> </tr> </table>	スイッチの使用区分	色及び配列	入り(ON)	黒色・上側又は右側	切り(OFF)	赤色・下側又は左側		
	スイッチの使用区分	色及び配列								
入り(ON)	黒色・上側又は右側									
切り(OFF)	赤色・下側又は左側									
電 力 設 備 工 事 通信・情報設備工事 EM電線ケーブル類の使用場所 (① 1. 1. 1) (② 1. 1. 1) (③ 1. 1. 1)	EM電線ケーブル類は必要に応じて紫外線対策を講ずるか、もしくは耐紫外線電線ケーブルを使用する。									
屋外形プルボックス (② 2. 2. 8) (③ 1. 2. 2)	蓋の止めねじはステンレス製の十字穴付六角アセット高圧とする。 合成樹脂製(文字刻記又は文字印刷)の名称板で用途表示を行うこと。									
電 力 設 備 工 事 LED制御装置の種類 (② 1. 4. 3)	LED制御装置の種類は、標準図及びJIL5004-2018「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。 <table border="1"> <tr> <td>蛍光灯等の種類</td> <td>安定器及び制御装置の種類</td> <td>電圧(V)</td> </tr> <tr> <td>LED灯</td> <td>LN</td> <td>○100 ○200</td> </tr> <tr> <td>LED灯</td> <td>LJ, LX, LZ</td> <td>○100 ○200</td> </tr> </table> LED器具類はユニバーサル電圧(100~242V)対応品可とする。	蛍光灯等の種類	安定器及び制御装置の種類	電圧(V)	LED灯	LN	○100 ○200	LED灯	LJ, LX, LZ	○100 ○200
蛍光灯等の種類	安定器及び制御装置の種類	電圧(V)								
LED灯	LN	○100 ○200								
LED灯	LJ, LX, LZ	○100 ○200								
電 力 設 備 工 事 照明制御装置 (② 1. 6. 1)	1) 照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。 2) 室内什器設置後に各センサーが正しく動作することを確認すること。 3) センサー設定器(全機能を設定可能なもの)の納入 ○ 要 ⊗ 不要									
電 力 設 備 工 事 多重伝送制御システム (① 1. 1. 1)	1) 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。 2) システム設定器(全機能を設定可能なもの)の納入 ○ 要 ⊗ 不要									
電 力 設 備 工 事 避雷接地抵抗値 (② 2. 17. 4) (② 2. 19. 4)	接地抵抗値は、5Ω以下とする。ただし、引下げ導線が2条以上の場合は、単独接地抵抗は10Ω以下とし、総合接地抵抗値は、5Ω以下とする。									
受変電設備工事 導 電 部 (③ 1. 1. 4)	大電流回路の母線接続部分には、60℃非可逆性のサーモラベルを貼り付ける。									
受変電設備工事 盤 内 器 具 類 (③ 1. 1. 5)	1) 計器用変圧器で高圧用のもの最高電圧は6.9kV、絶縁階級は6号Aとし、一次側限流ヒューズ付とする。 2) 変圧器盤の外扉内側に機器副銘板を取付ける。 3) 特記なき配線用遮断器の遮断容量は25KA以上とする。									
受変電設備工事 高圧負荷開閉器 (③ 1. 9. 8)	引込柱に設ける高圧引込負荷開閉器のプッシングは、メーカー標準とする。									
受変電設備工事 事前確認等 (③ 2. 1. 1)	高圧機器の操作及び停電作業を行う場合は、安全用具(高圧ゴム手袋・高圧ゴム長靴・絶縁シート等)を確実に使用し、感電防止を図ること。									
自家発電設備工事 届 出 関 係 等	軽油又は、灯油を燃料とする自家発電設備においては、燃料タンクに500L以上の燃料を貯蔵される場合、設置に係る計画の届出を行うこと。									
蓄 電 池	蓄電池は原則として工事期限の6ヶ月前より後に製造したものとす。同一機器に2個以上使用する蓄電池は、原則として同一ロット番号のものとする。ただし、併用中の施設については、使用開始の6ヶ月前より後に製造したものとす。									
そ の 他	電線等の接続で圧着端子による接続に使用する太さ60 ² 以上の場合にはR形を使用し、60 ² 未満の場合はR形とする。(配線用しゃ断器の接続を除く)									

通信・情報設備工事 床面に使用するワイヤプロテクタ等	床面に使用するワイヤプロテクタ等で人の通行する箇所に設置する場合は下記の製品又は同等品を使用する。 ・星和電機機 UDプロテクタ ・マサル工業機 ガードマンII ・パナソニック機 メタルワイプロ ・未来工業機 ワゴンモール																												
通信・情報設備工事 交換装置の容量数	構内交換装置の容量数は基本サービス機能及び設計図書に示された機能に係るソフトウェアを変更することなく、パッケージの増設のみによって収容可能となる回線数をいう。																												
通信・情報設備工事 交換機の種類	交換機の種類は、「標仕」の基本サービス機能に下記を加える。 <table border="1"> <tr> <td>サービス機能</td> <td>概 要</td> </tr> <tr> <td>リセットコール(コールアドバンス、ステップコール)</td> <td>被呼内線が話中のとき、発呼者が話中内線と最終折のみ異なる他内線の最終折をダイヤルすることにより他内線に接続できる機能。</td> </tr> <tr> <td>着信呼の可聴音識別</td> <td>局線からの着信か内線からの着信かそれぞれ異なる着信音により識別できる機能。</td> </tr> <tr> <td>不完全転送再応答</td> <td>転送先が応答しない場合、転送元が受話器を下ろせば呼返しする機能。</td> </tr> <tr> <td>システム監視制御機能</td> <td>中央制御装置の重要障害、システムダウン等の障害が発生した場合、予備装置に切替える機能又は局線を定められた内線に切り替える機能。</td> </tr> </table>	サービス機能	概 要	リセットコール(コールアドバンス、ステップコール)	被呼内線が話中のとき、発呼者が話中内線と最終折のみ異なる他内線の最終折をダイヤルすることにより他内線に接続できる機能。	着信呼の可聴音識別	局線からの着信か内線からの着信かそれぞれ異なる着信音により識別できる機能。	不完全転送再応答	転送先が応答しない場合、転送元が受話器を下ろせば呼返しする機能。	システム監視制御機能	中央制御装置の重要障害、システムダウン等の障害が発生した場合、予備装置に切替える機能又は局線を定められた内線に切り替える機能。																		
サービス機能	概 要																												
リセットコール(コールアドバンス、ステップコール)	被呼内線が話中のとき、発呼者が話中内線と最終折のみ異なる他内線の最終折をダイヤルすることにより他内線に接続できる機能。																												
着信呼の可聴音識別	局線からの着信か内線からの着信かそれぞれ異なる着信音により識別できる機能。																												
不完全転送再応答	転送先が応答しない場合、転送元が受話器を下ろせば呼返しする機能。																												
システム監視制御機能	中央制御装置の重要障害、システムダウン等の障害が発生した場合、予備装置に切替える機能又は局線を定められた内線に切り替える機能。																												
通信・情報設備工事 交換機の可聴信号音	内線容量101回線以上の交換機の可聴信号音は下記による。 <table border="1"> <tr> <td>信号名称</td> <td>略 称</td> <td>周波数</td> <td>断 続 比</td> </tr> <tr> <td>内線発信音</td> <td>DT</td> <td>400Hz</td> <td>120INT/分</td> </tr> <tr> <td>特殊発信音</td> <td>SDT</td> <td>400Hz</td> <td>240INT/分</td> </tr> <tr> <td>話 中 音</td> <td>BT</td> <td>400Hz</td> <td>60INT/分</td> </tr> <tr> <td>呼 出 音</td> <td>RBT</td> <td>400/20Hz</td> <td>20INT/分</td> </tr> <tr> <td>呼 出 音 系</td> <td>IR</td> <td>20Hz</td> <td>20INT/分</td> </tr> <tr> <td>特殊呼出音</td> <td>SIR</td> <td>20Hz</td> <td>約1秒</td> </tr> </table> 【備考】上記以外は製造者標準とする。	信号名称	略 称	周波数	断 続 比	内線発信音	DT	400Hz	120INT/分	特殊発信音	SDT	400Hz	240INT/分	話 中 音	BT	400Hz	60INT/分	呼 出 音	RBT	400/20Hz	20INT/分	呼 出 音 系	IR	20Hz	20INT/分	特殊呼出音	SIR	20Hz	約1秒
信号名称	略 称	周波数	断 続 比																										
内線発信音	DT	400Hz	120INT/分																										
特殊発信音	SDT	400Hz	240INT/分																										
話 中 音	BT	400Hz	60INT/分																										
呼 出 音	RBT	400/20Hz	20INT/分																										
呼 出 音 系	IR	20Hz	20INT/分																										
特殊呼出音	SIR	20Hz	約1秒																										
通信・情報設備工事 交換機の警報表示等	①内線容量101回線以上の交換機の警報表示及び状態表示は下記による。 (1) 本体キャビネットの表示 本体キャビネット内には、各種障害及び動作状態を表示する。 (2) 遠方警報表示盤 ・交換機及び充電装置の各種警報を外部に表示するもので、重障害(MJ)、軽障害(MN)等を表示する。 ・重障害(MJ)で可聴警報を併用する場合は、可聴警報のみ停止できるスイッチを設ける。 ・中央監視盤等の汎用警報表示盤にも接続できるように、無電圧接点(重障害、軽障害)を設ける。 ○警報表示等を設けない																												
通信・情報設備工事 本 配 線 盤	・試験弾指及び端子板類には示名名片を取り付ける。 ・接地端子を取り付ける。 ・自立フレーム型の場合は、下部に木製の据付台又は覆を体積よく堅固に取り付ける。																												
通信・情報設備工事 整 流 装 置	①内線容量101回線以上の交換機の整流装置には次の警報回路を設ける。 なお、警報は遠方表示盤にも表示する。 ・各ヒューズの溶断・各配線用遮断器のトリップ・負荷電圧の異常・交流入力の停電 ○警報回路は設けない。																												
通信・情報設備工事 蓄 電 池	蓄電池は停電時、最長時負荷で下記の時間以上、構内交換装置が支障なく動作できる容量とする。 ・交換機 ○ 3時間以上 ○ 30分以上 ○ 製造者標準 ・ボタン電話装置 ○ 製造者標準 ○ 30分以上																												
通信・情報設備工事 配 線 の 接 続	ケーブルは原則として機器間の途中で接続してはならない。																												
通信・情報設備工事 UTPケーブルの敷設	・ケーブル敷設前に施工図にてフロア配線盤から通信アウトレットまでのケーブル長が90m以内であることを確認すること。 ・フロア配線盤から通信アウトレットまでのリンク性能はJIS X 5150「構内情報配線システム」のクラスDパーマネントリンクの性能を満足するものとする																												
通信・情報設備工事 施 工 の 試 験	・UTPケーブルの伝送品質測定は、全区間において全回線について測定を行い、監督職員に試験成績を提出し承諾を受ける。 ・測定結果は原則として電子データ(CD-R等に収納)にして提出する。																												
通信・情報設備工事 停 電 時 の 対 応 等	構内交換装置及び構内情報通信網装置を新設する工事では下記による。 (a) 構内交換装置 ・故障時及び長時間の停電時の取扱方法を、装置付近に掲示し、建物管理者にも説明を行うこと。 ・長時間停電時の仮設電源の接続箇所・電源容量及び接続方法を装置付近に掲示し、建物管理者にも説明すること。 ・停電時及び故障時に自動的に切替えて発着音のできる停電対応電話機を局線数に対応して設けること。 ・停電対応電話機の位置は監督職員と打ち合わせにより決定すること。 (b) 構内情報通信網装置 ・故障時及び長時間の停電時の取扱方法を、装置付近に掲示し、建物管理者にも説明を行うこと。																												

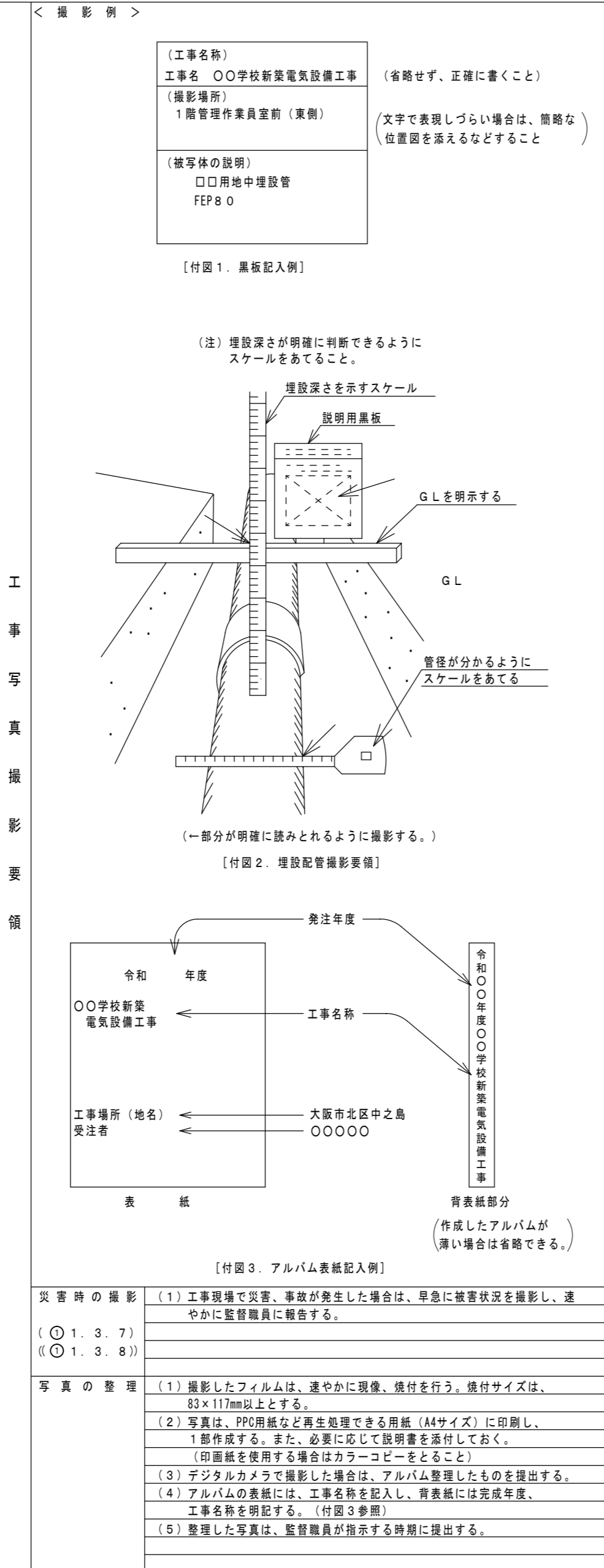
通信・情報設備工事 構内交換設備の接地対象物と接地抵抗値等	接地対象物と接地抵抗値等は図面に記載のない場合は次による。 <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>接地抵抗値</td> <td>接地線の太さ</td> <td>表示板</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">構内交換装置</td> <td>200回線以下</td> <td>10Ω以下</td> <td>14 mm以上 要</td> </tr> <tr> <td>1,000回線以下</td> <td>6Ω以下</td> <td>14 mm以上 要</td> </tr> <tr> <td>1,000回線超過</td> <td>4Ω以下</td> <td>14 mm以上 要</td> </tr> <tr> <td>本配電盤の保安装置</td> <td>10Ω以下</td> <td>14 mm以上 要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金属枠(フレーム等)</td> <td>100Ω以下</td> <td>2.0 mm以上 不要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加入者保安器</td> <td>100Ω以下</td> <td>2.0 mm以上 不要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電子ボタン電話主装置</td> <td>100Ω以下</td> <td>2.0 mm以上 不要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネットワーク機器</td> <td>特記による</td> <td>特記による</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>ちよう架用線又は支持線(光ファイバケーブルを除く)</td> <td>100Ω以下</td> <td>2.0mm以上</td> <td>不要</td> </tr> </table> 構内交換装置用接地工事(隣接地)には、接地用端子盤を設置する。	種 別	接地抵抗値	接地線の太さ	表示板	構内交換装置	200回線以下	10Ω以下	14 mm以上 要	1,000回線以下	6Ω以下	14 mm以上 要	1,000回線超過	4Ω以下	14 mm以上 要	本配電盤の保安装置	10Ω以下	14 mm以上 要		金属枠(フレーム等)	100Ω以下	2.0 mm以上 不要		加入者保安器	100Ω以下	2.0 mm以上 不要		電子ボタン電話主装置	100Ω以下	2.0 mm以上 不要		ネットワーク機器	特記による	特記による	要	ちよう架用線又は支持線(光ファイバケーブルを除く)	100Ω以下	2.0mm以上	不要
種 別	接地抵抗値	接地線の太さ	表示板																																				
構内交換装置	200回線以下	10Ω以下	14 mm以上 要																																				
	1,000回線以下	6Ω以下	14 mm以上 要																																				
	1,000回線超過	4Ω以下	14 mm以上 要																																				
本配電盤の保安装置	10Ω以下	14 mm以上 要																																					
金属枠(フレーム等)	100Ω以下	2.0 mm以上 不要																																					
加入者保安器	100Ω以下	2.0 mm以上 不要																																					
電子ボタン電話主装置	100Ω以下	2.0 mm以上 不要																																					
ネットワーク機器	特記による	特記による	要																																				
ちよう架用線又は支持線(光ファイバケーブルを除く)	100Ω以下	2.0mm以上	不要																																				
通信・情報設備工事 予 備 品	構内交換装置 <table border="1"> <tr> <td>種 別</td> <td>数 量</td> </tr> <tr> <td>ランプ類(発光ダイオードを除く)</td> <td>現用数の100%</td> </tr> <tr> <td>ヒューズ類</td> <td>現用数の100%</td> </tr> <tr> <td>内線番号表及び簡易取扱説明書</td> <td>内線実装数分</td> </tr> <tr> <td>電話機コード</td> <td>現用数の20%</td> </tr> <tr> <td>カルコード</td> <td>現用数の20%</td> </tr> </table> 【備考】(1)数量の算定はコードや電話機の種類ごとに行う。 (2)1本未満の端数は切り捨てる。	種 別	数 量	ランプ類(発光ダイオードを除く)	現用数の100%	ヒューズ類	現用数の100%	内線番号表及び簡易取扱説明書	内線実装数分	電話機コード	現用数の20%	カルコード	現用数の20%																										
種 別	数 量																																						
ランプ類(発光ダイオードを除く)	現用数の100%																																						
ヒューズ類	現用数の100%																																						
内線番号表及び簡易取扱説明書	内線実装数分																																						
電話機コード	現用数の20%																																						
カルコード	現用数の20%																																						
はつり及び穴あけ	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用することとし、作業前に鉄筋の探査を行うこと。なお、復旧はモルタル補修とする。また、いかなる場合においても、柱・梁のはつり及び貫通は行っではない。																																						
撤 去 工 事	既設建物又はその一部解体に伴い、既存設備を撤去する場合は次による。 1) 工事施工に当たっては、第三者に対して危害を及ぼさないように安全上必要な防護施設を設けて施工する。 2) 撤去回記載内容の内、埋設、隠ぺい部分については概要を示したものであり施工に際し必要な場合は現況を再確認の上、施工する。なお、現況が著しく図示概要と相違する場合は、監督職員に報告し、協議の後、施工する。 3) 撤去工事に伴って必要な官公署への手続きは速やかに行う。 4) 撤去による発生材は、「改修標仕」①・9・1(発生材の処理等)によるが、特記により再使用する機材は既存状態を確認し、再使用に支障となる破損又は機能不良が発見された場合は監督職員に速やかに報告し協議を行う。 5) 器具取付ボルトは本工事にて撤去する。 6) 撤去後の補修は、原則として現状復旧とする。 7) 現場発生材の撤去経路は、監督職員及び施設管理者と協議の上、安全に配慮して決定すること。 8) 煙感知器の処理方法については「放射性同位元素等による放射線の障害の防止に関する法律」に定める放射性同位元素装置機器に該当するかの確認を行い該当する場合、製造会社に返却する。 返却時の製造会社の受領書(または送り状控)のコピーを監督職員に提出する。 9) 撤去工事においては、建物運営に支障のないように、旧設備の撤去を行うこと。																																						
有 備 材	・電線・ケーブル類、変圧器(絶縁線除く)の銅材 ・金属管、プルボックス、盤類、キュービクル、変圧器(絶縁線除く)の鉄材 ・その他()																																						
工事実績データの登録について	請負金額(設計変更を含む)が500万円(税込)以上の工事について、(一財)日本建築情報総合センターによる工事実績情報システム(コリンズ)への登録を、次に示す期間内に行うこと。 <table border="1"> <tr> <td>工事受注時</td> <td>契約締結後 10日以内</td> </tr> <tr> <td>登録内容変更時</td> <td>変更契約締結後 10日以内</td> </tr> <tr> <td>工事完成時</td> <td>工事完成後 10日以内</td> </tr> </table> 上記期間には、土曜日、日曜日、祝日は含まない。変更時と、工事完成時の間が10日を満たさない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。	工事受注時	契約締結後 10日以内	登録内容変更時	変更契約締結後 10日以内	工事完成時	工事完成後 10日以内																																
工事受注時	契約締結後 10日以内																																						
登録内容変更時	変更契約締結後 10日以内																																						
工事完成時	工事完成後 10日以内																																						
書面の書式及び取扱いについて	・(2)は監督職員が認める場合を除き適用しない。 ・全ての受注者は、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、施工体制台帳及び施工体系図を整備し、提出すること。																																						
排出ガス対策型建設機械の使用について	1) 本工事において、使用する建設機械については国土交通省「排ガス対策型建設機械指定要領」による第2次基準値に適合した物とする。ただし、使用する機器保有状況により基準に適合し難い場合は、監督職員の承諾を得て使用することが出来る。 2) 各建設機械には、同要領による排出ガス対策型建設機械指定ラベルを見やすい場所に表示する。																																						

特定元方事業者の指名について	○特定元方事業者の請すべき措置については、別途契約の受注者を労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名するので、当該特定元方事業者の措置する事項に協力すること。 別途契約の受注者(○ 建築 ○ 機械) ○労働安全衛生法第30条第2項に基づき、本工事の受注者を同法第30条第1項に規定する措置を請すべきものとする。
公共事業労務費調査への協力について	1) 本工事が本市の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入して本市に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後についても、同様とする。 2) 調査票を提出した事業所を本市が事後に訪問して行う調査・指導の対象に請負者がなった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても同様とする。 3) 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。 4) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)が前1)から3)項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
シックハウス対策(化学物質を発生する建築材料等の使用制限)	屋内において使用する建築(設備)材料は「建築基準法第28条の2」「施工令第20条の7第4項」並びに関係告示によるものとし、JIS及びJASにおけるF☆☆☆☆相当品とする。ただし、使用する建築(設備)材料において上記性能を有するものを使用し難い場合は、安全性を確認の上監督職員の承諾を得て使用することが出来る。
化学物質の濃度測定	○ 要 ・測定対象化学物質 () ・測定方法 () ・測定対象室 () ・測定箇所 ()
(① 1. 5. 7) (① 1. 6. 8)	⊗ 不要
現 場 管 理	工事期間中に施設利用者が使用する範囲での施工について(注意事項) 使用中の施設で夜間や休日施工する場合など、工事範囲と工事期間中に施設利用者が使用する範囲が重なる工事においては、特に安全管理の徹底を図り、以下のような点について留意すること。 1) 高所や天井などに取り付ける資機材については落下の危険性に特に注意すること。 2) 仮囲いなどは容易に閉閉りができないようにすること。 3) 作業終了時には、工具や資機材を施設利用者が使用する範囲内に残置しないこと。また機器、配線、配管等を仮止めや半固定の状態を残置しないこと。 現場代理人及び作業員は、施工業者指定の腕章等を着用する。
一 般 事 項	標準仕様書によるほか、下記によるものとする。 1) 工事の写真はこの要領に基づき撮影すること。 2) 工事対象部分との取合上、着手前の現況を必要とする場合はこれを撮影する。今回工事 ⊗ 不要 ○ 要 3) 現場代理人は、監督職員と十分打合せを行い、撮影時期を逃さないようにする。
写 真 の 撮 り 方	1) 撮影箇所は原則として工事完成後容易に確認できない部分とし、撮影はカラー撮影とする。 2) 工事写真の整理上必要な場合は黒板などを設置し、黒板には、必要に応じて施工場所、内容を記入の上これを写し込む。(付図1に参考例を示す。) 3) 地中埋設管などで埋設深さなど、被写体の寸法、位置の明示が必要な場合は、スケールなどを利用して被写体と同時に撮影し、確実に判定できるよう撮影すること。(付図2に参考例を示す。)

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	電気設備工事特記仕様書(2)	図面サイズ: A2
縮 尺	—	図面番号
		No. 3 (9 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設 計 課

撮影要領 各工程の撮影要領は次に示すとおりとする。				
工 事 別	撮 影 箇 所	撮 影 の ポ イ ン ト	撮 影 枚 数 等	
配管配線工事 (屋内)	メタルラス張り等に施設する金属配管等	●メタルラス、金属板等との絶縁状況 ●配管ふ設状況 ●盤引下げ配管まわりの状況	●全箇所各1枚以上 ●各スラブごとに1枚以上 ●	
	二重天井、床下等の隠ぺい配管	●配管支持状況 ●エキスパンション部分 ●配管ふ設及びボンディングの状況	●各スラブごとに1枚以上 ●全箇所各1枚以上 ●各スラブごとに1枚以上	
	ブルボックス、コンクリートボックス、各盤	●埋込部分のボンディングの状況 ●盤立上げ、立下げ配管まわり	●各スラブごとに1枚以上 ●	
架空配線工事	電柱、支線、支柱の根入れ、根かせ	●根入れ及び埋設状況	●全箇所各1枚以上	
機器据付工事	基礎ボルト	●基礎ボルト取付状況 (鉄筋溶接部分等) 受変電機器自家発電機器大型の自立盤等	●全箇所各1枚以上	
<p>●基礎のアンカーボルト(接着系アンカー含む)の材料(形状、寸法、員数) ●基礎へのアンカーボルト(接着系アンカー含む)の施工(穿孔穴の径・深さ・清掃、アンカーボルトの埋設深さ) ●重量機器の搬入状況 ●据付、組立状況</p>				
地中配線工事	地中埋設管路	●管路の埋設寸法及び埋設状況(深さ等) ●埋設表示シートのふ設状況 ●配管が地下室へ入る部分の水切り施工状況 ●地盤沈下対策を施した配管施工状況	●各系統約30mごとに1枚以上 ● ●全箇所各1枚以上 ●	
	マンホール ハンドホール	●掘削、砕石ふ設状況 ●配筋状況	●全箇所各1枚以上 ●	
接地工事	E A、E B、E D E Cの接地極	●接地極の寸法、埋設状況(深さ等) ●接地極と導線の接続状況	●全箇所各1枚以上 ●	
	避雷設備工事	接地極	●接地極の寸法、埋設状況(深さ等) ●接地極と導線の接続状況	●全箇所各1枚以上 ●
		支持管	●支持管の取付状況 (鉄筋溶接部分等)	●全箇所各1枚以上
照明設備工事	外灯	●基礎の施工状況(寸法、深さ、砕石ふ設状況等)	●全箇所各1枚以上	
	大型照明器具	●重量物の吊下げ物の固定状況	●同一器種ごとに1枚以上	
テレビ共同受信設備工事	アンテナ支持管 取付金物	●支持管取付金物の取付状況(鉄筋溶接部分等)	●全箇所各1枚以上	
共通事項	地中貫通部分	●管とスリーブとの納まり状況	●全箇所各1枚以上	
	防火区画貫通処理部分	●管またはスリーブとの処理状況	●全箇所各1枚以上	
	耐火処理材工事	●耐火処理材の取付状況	●全箇所各1枚以上	
	防水層貫通部分	●防水工事前の納まり状況 ●防水工事後の納まり状況	●全箇所各1枚以上	
	はつり貫通工事	●鉄筋探査状況	●全箇所各1枚以上	
産業廃棄物および現場発生材処理	集積場	●集積、分別状況	●工事規模に応じて現場で枚数を決定(監督員の指示による)	
	積込	●搬出状況 ●積込車両のナンバープレート ●産業廃棄物収集運搬車両の表示	●工事規模に応じて現場で枚数を決定(監督員の指示による)	
	積降	●廃棄状況 ●積降車両のナンバープレート ●産業廃棄物収集運搬車両の表示	●工事規模に応じて現場で枚数を決定(監督員の指示による)	

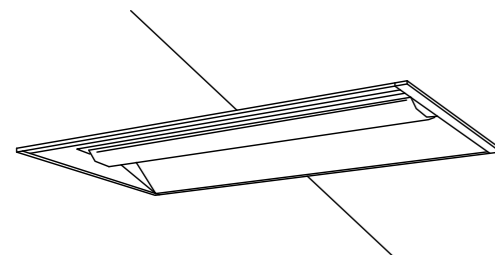
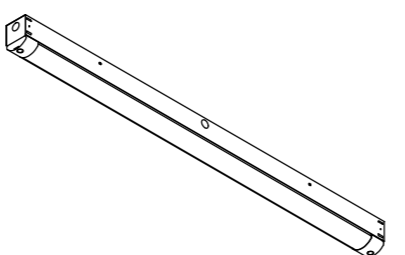
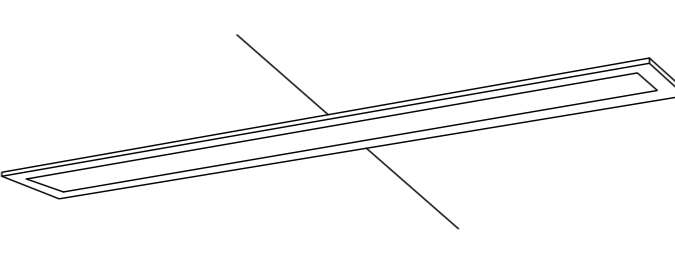
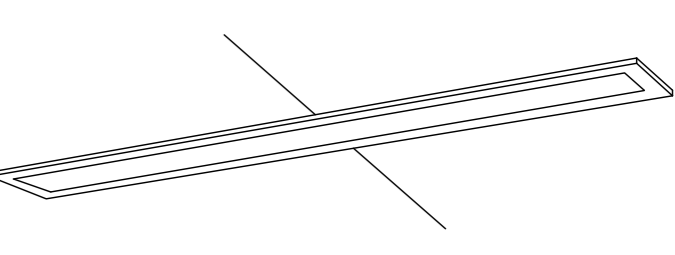
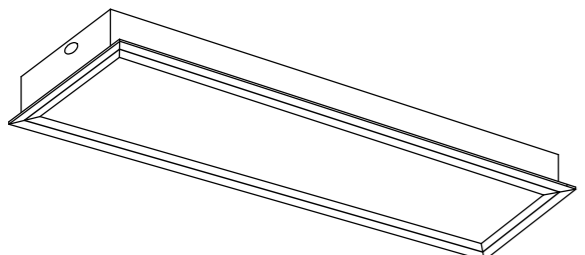
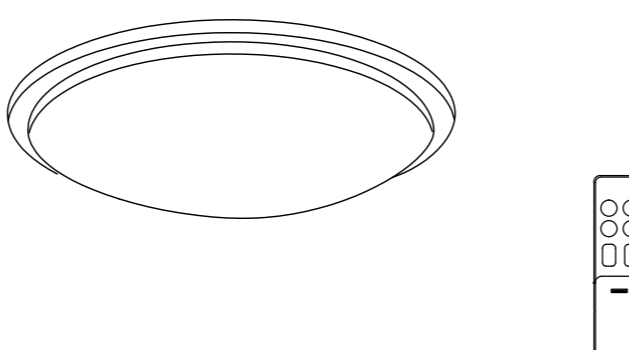
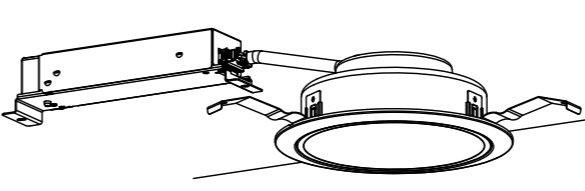
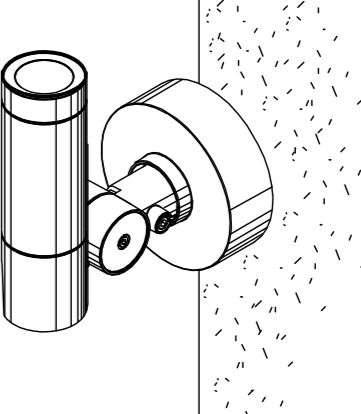
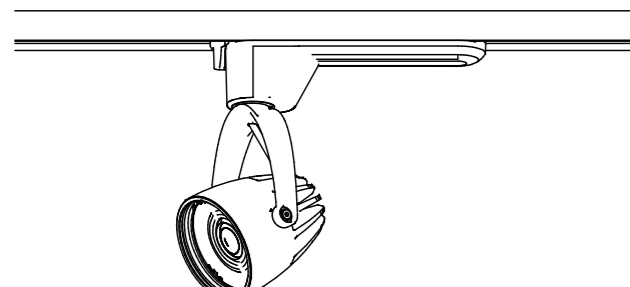
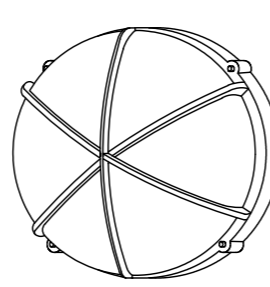
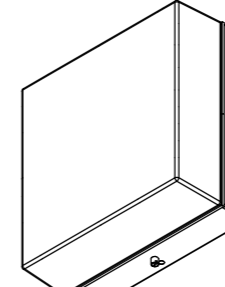
〔備考〕その他特に監督職員の指示する場合は撮影する。

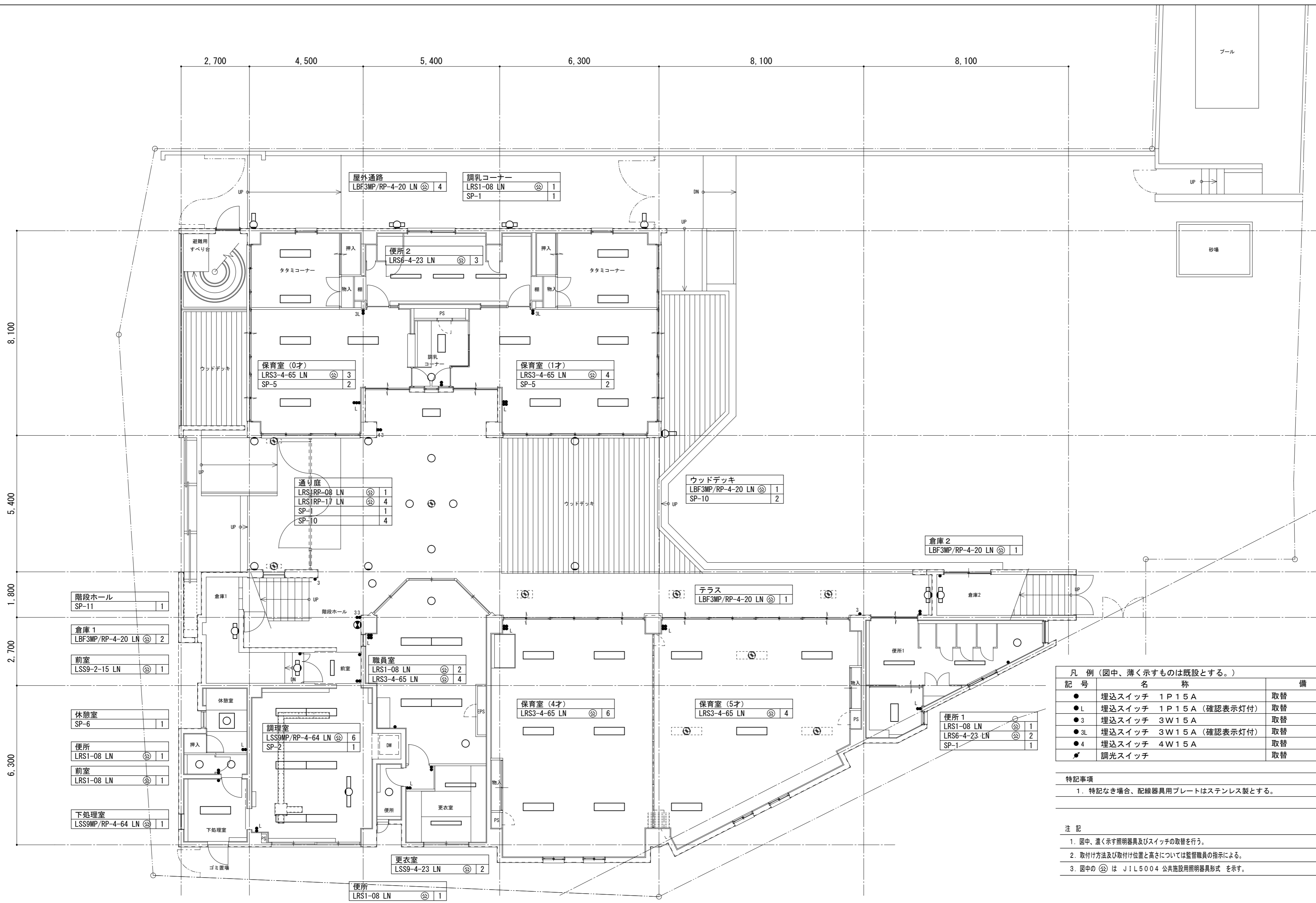


アスベスト含有建材の処理(撤去含む)は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書(建築工編)平成31年版によるほか、以下のとおりとする。

項目	特記事項																																																					
一般事項	別添図中に指示のない場合は以下による。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 建材中のアスベスト含有調査(施工調査) <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 不要 ○ 要 当該工事にかかるアスベスト含有建材の有無について、分析によるアスベスト含有の調査は下表による。ただし、事前調査の実施において、目視確認等でアスベスト含有の有無が判明した場合は、監督職員の指示による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所・材料名</th> <th>調査方法</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>⊙ 定性分析 () 箇所</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 定量分析 () 箇所</td><td></td></tr> </tbody> </table> 分析は厚生労働省通達H26.3.31付基安発0331第31号「建材中の石棉含有率分析方法について」に基づき分析を行う。 2. アスベスト含有建材の処理(撤去含む) <ul style="list-style-type: none"> ⊙ 不要 ○ 要(下表による。) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>撤去範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕上げ塗材</td> <td>「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照</td> </tr> <tr> <td>クロス接着剤</td> <td>「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照</td> </tr> <tr> <td>天井ボード成形板</td> <td>「アスベスト含有成形板の撤去」参照</td> </tr> </tbody> </table> 	場所・材料名	調査方法	箇所数		⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所			⊙ 定性分析 () 箇所			○ 定量分析 () 箇所		材料名	撤去範囲	仕上げ塗材	「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照	クロス接着剤	「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照	天井ボード成形板	「アスベスト含有成形板の撤去」参照
場所・材料名	調査方法	箇所数																																																				
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
	⊙ 定性分析 () 箇所																																																					
	○ 定量分析 () 箇所																																																					
材料名	撤去範囲																																																					
仕上げ塗材	「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照																																																					
クロス接着剤	「外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理」参照																																																					
天井ボード成形板	「アスベスト含有成形板の撤去」参照																																																					
除去工事 共通事項	調査結果の掲示 アスベスト含有の有無について調査した結果は、作業開始までに ^① 石綿に関する事前調査の結果を現場に掲示する。なお、平成18年9月1日以後に設置工事に着手した建築物等又は改築若しくは補修工事に着手した部分で、アスベスト含有建材の使用のないことが明らかな解体等(解体、改造、改修を伴う)工事であっても、建築物等の敷地内の公衆の見やすい場所にアスベスト含有建材の使用がないことを掲示する。 ^② 様式は大阪府環境局ホームページを参照する。																																																					
アスベスト含有成形板の撤去	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業者は、防じんマスク、保護メガネ及び作業衣を着用する。 2. 建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所をビニールシート等で塞ぐものとする。 3. 成形板の除去を行う場合は、粉じんが飛散しないよう湿潤化を行い、原則として手ばらして行う。 4. アンカーボルト等設置のため成形板の穴あけを行う場合は、粉じんが飛散しないよう湿潤化を行い作業する。 5. 撤去作業後、アスベスト含有成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。 6. 処分先 アスベスト含有せっこうボード ⊙ 管理型最終処分場で埋立処分 アスベスト含有せっこうボード以外 ⊙ 石綿含有産業廃棄物として安定型最終処分場で埋立処分 ○ 設置許可溶解処分場で溶解処理 ○ 認定無害化処理施設で無害化処理 																																																					
外壁等のアスベスト含有仕上げ塗材の処理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既設建物の外壁等に施工されている仕上げ塗材にはアスベストが含有されている恐れがあり、穴を開ける作業は特定粉じん排出等作業に該当するため、以下のとおり処理を行うこと。 (1) 外壁等に仕上げ塗材が施工されている場所に、アンカー設置またはダイヤ貫通を行う場合は、湿潤化を行い、飛散させないようカッターナイフ・スクレーパー等で仕上げ塗材及び下地材を除去の上、作業を行うこと。 (2) 除去跡については固形剤噴霧や接着材塗布等の飛散防止措置を講じる事。 (3) 除去を行った仕上げ塗材及び下地材は、石綿含有産業廃棄物として適切に処分を行う。 2. 作業者は防護マスク、保護メガネ及び作業衣を着用すること。 																																																					

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	電気設備工事特記仕様書(3)	図面サイズ: A2
縮尺	—	図面番号 No. 4 (9枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所

□ SP-1		○ SP-2		▬ SP-3		□ SP-4	
							
(製造者標準品)		(製造者標準品)		(製造者標準品)		(製造者標準品)	
仕様	LED灯 FL20形2灯 相当品	仕様	LED灯 Hf蛍光灯32形(定格出力形)1灯 相当品	仕様	LED灯 Hf蛍光灯32形(定格出力形)1灯 相当品	仕様	LED灯 Hf蛍光灯32形(高出力形)2灯 相当品
光源色	昼白色 5000K Ra83	光源色	昼白色 5000K Ra83	光源色	昼白色 5000K Ra83	光源色	昼白色 5000K Ra83
光束	1550 lm (1600 lmタイプ)	光束	2510 lm (2500 lmタイプ)	光束	1610 lm (2500 lmタイプ)	光束	4640 lm (6900 lmタイプ)
光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間
材質	本体:亜鉛鋼板 反射板:鋼板(高反射白色粉末塗装)	材質	本体:ステンレス LEDバー:ポリカーボネート(乳白)	材質	本体:鋼板 パネル:アクリル(乳白) ライトバー:ポリカーボネート(乳白)	材質	本体:鋼板 パネル:アクリル(乳白) ライトバー:ポリカーボネート(乳白)
定格電圧	AC100V~242V	定格電圧	AC100V~242V	定格電圧	AC100V~242V	定格電圧	AC100V~242V
消費電力	(AC100V) 11.6W 0.116A	消費電力	(AC100V) 15.9W 0.165A	消費電力	(AC100V) 16.3W 0.169A	消費電力	(AC100V) 43.1W 0.449A
取付方法	埋込形 (埋込寸法:300×639mm)	取付方法	直付形	取付方法	埋込形 (埋込寸法:150×1235mm)	取付方法	埋込形 (埋込寸法:220×1235mm)
備考	電源内蔵型	備考	保護等級:IP23 防湿・防雨形、高温用	備考	電源内蔵型、下面パネル付、(公)(旧):LRS6F1-4-13 LN	備考	電源内蔵型、下面パネル付、(公)(旧):LRS3F1-4-40 LN
□ SP-5		□ SP-6		○ SP-7		▷ SP-8	
							
(製造者標準品)		(製造者標準品)		(製造者標準品)		(製造者標準品)	
仕様	LED灯 Hf蛍光灯32形(高出力形)2灯 相当品	仕様	LED灯 シーリングライト ~8畳用	仕様	LED灯 コンパクト形蛍光灯FHT32形1灯(白熱灯100形) 相当品	仕様	LED灯 ハイビーム球100形 相当品
光源色	昼白色 5000K Ra83	光源色	電球色 2700K~昼光色 6500K Ra83	光源色	電球色 3000K Ra85	光源色	電球色 4000K Ra84
光束	4150 lm (6900 lmタイプ)	光束	4100 lm (10~100% 調光)	光束	1555 lm (1~100% 調光)	光束	835 lm
光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間
材質	本体:鋼板 パネル:アクリル(乳白) ライトバー:ポリカーボネート(乳白) 枠:白木	材質	本体:鋼板 カバー:アクリル(乳白) 枠:木	材質	反射板(上部):プラスチック(白色) 反射板(下部):鋼板(銀色鏡面仕上) 枠:鋼板(白色艶消仕上)	材質	本体:アルミダイカスト アーム:アルミダイカスト フランジ:アルミダイカスト レンズ:ガラス パッキン:ゴム
定格電圧	AC100V~242V	定格電圧	AC100V	定格電圧	AC100V~242V	定格電圧	AC100V
消費電力	(AC100V) 44.8W 0.449A	消費電力	(AC100V) 38.5W 0.40A	消費電力	(AC100V) 11.6W 0.124A	消費電力	(AC100V) 11.2W 0.120A
取付方法	埋込形 (埋込寸法:220×1235mm)	取付方法	直付形 (引掛シーリング)	取付方法	埋込形 (埋込寸法:φ150mm)	取付方法	直付形
備考	電源内蔵型、下面パネル付、和室向け	備考	調光・調色リモコン付(電池式)	備考	電源一体型、広角配光タイプ	備考	電源内蔵型、保護等級:IP23、広角配光タイプ、首振範囲:90°、水平回転範囲:360°
▷ SP-9		○ SP-10		⊖ SP-11		<p>注記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 姿図及び寸法は参考とし、現地詳細調査・確認のうえ器具選定を行うこと。 なお、器具選定については監督職員及び施設関係者と打ち合わせを行うこと。 些細な仕様差異は監督職員許可のものとする。 2. 取付け方法及び取付け位置と高さについては監督職員の指示による。 3. 図中の (公) は JIL5004 公共施設用照明器具形式 を示す。 4. 特記なき場合、照明器具のLED制御装置は一般形(非調光)とする。 	
							
(製造者標準品)		(製造者標準品)		(製造者標準品)			
仕様	LED灯 ハイビーム球100形 相当品	仕様	LED灯 蛍光灯30形1灯(チョークレス水銀灯160形) 相当品	仕様	LED灯 白熱灯60形(コンパクト形蛍光灯FHT16形2灯) 相当品		
光源色	電球色 4000K Ra85	光源色	昼白色 5000K Ra80	光源色	昼白色 5000K Ra83		
光束	840 lm	光束	1310 lm	光束	545 lm (非常時75%点灯)		
光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間	光源寿命	40000時間		
材質	本体:アルミダイカスト(黒色) アーム:アルミダイカスト(黒色) レンズ:アクリル(透明)	材質	本体:ポリカーボネート グローブ:アクリル ガード:ポリカーボネート パッキン:ゴム	材質	本体:アルミダイカスト(白色) グローブ:ガラス(乳白艶消)		
定格電圧	AC100V	定格電圧	AC100V	定格電圧	AC100V~242V		
消費電力	(AC100V) 6.9W 0.124A	消費電力	(AC100V) 13.2W 0.220A	消費電力	(AC100V) 8.9W 0.093A		
取付方法	直付形 (ライティングダクト)	取付方法	直付形	取付方法	直付形		
備考	電源内蔵型、広角配光タイプ、首振範囲:90°、水平回転範囲:360°	備考	保護等級:IP23 防湿・防雨形	備考	階段通路誘導灯(蓄電池:ニッケル水素)、点検スイッチ付、防雨形		
工事名称		○○保育所照明設備改修工事				令和 年度	
図面名称		照明器具参考姿図				図面サイズ:A2	
縮尺		—		図面番号		No. 5 (9枚の内)	
大阪市都市整備局		設計事務所					
企画部施設整備課							



凡例 (図中、薄く示すものは既設とする。)

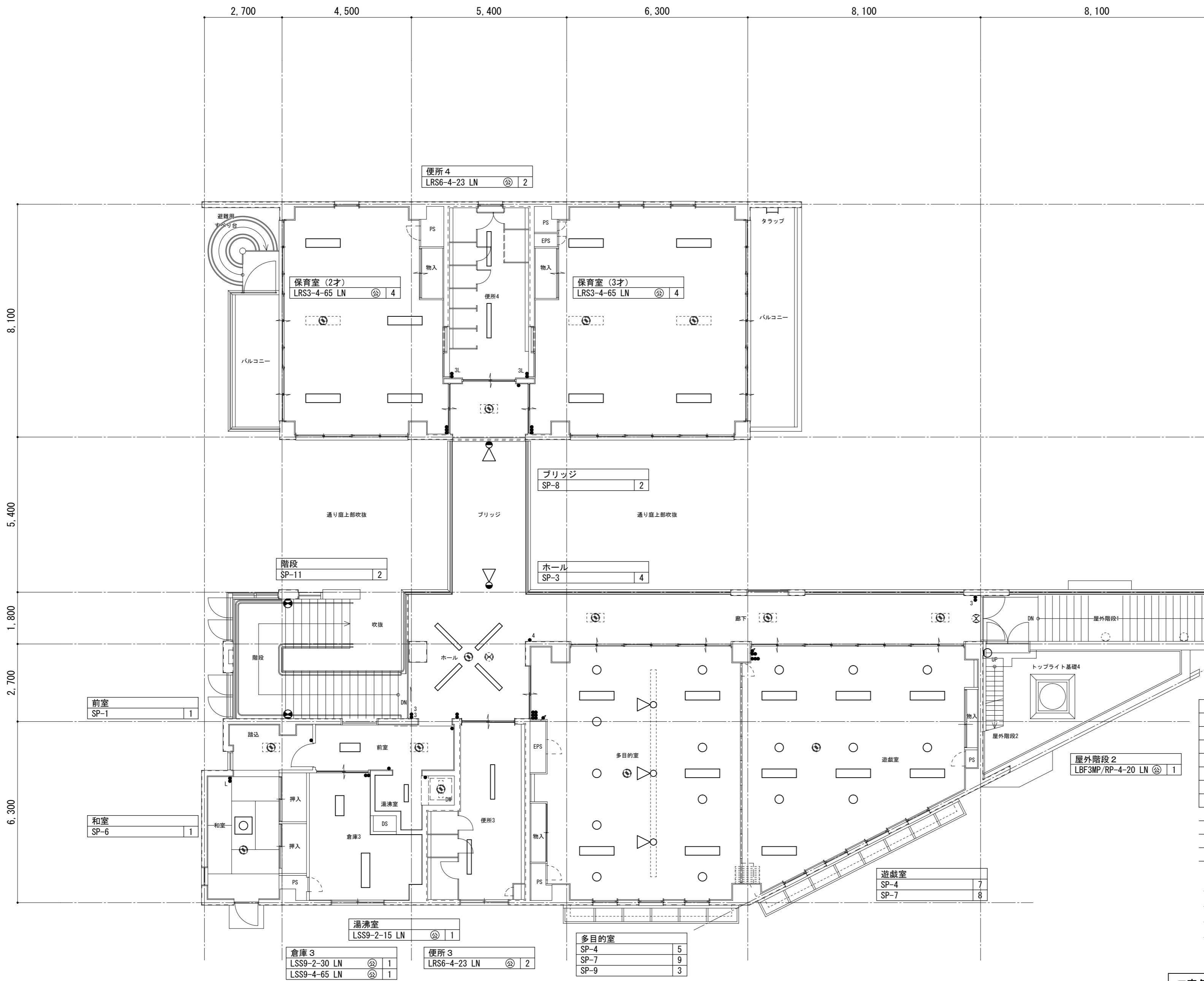
記号	名称	備考
●	埋込スイッチ 1P15A	取替
●L	埋込スイッチ 1P15A (確認表示灯付)	取替
●3	埋込スイッチ 3W15A	取替
●3L	埋込スイッチ 3W15A (確認表示灯付)	取替
●4	埋込スイッチ 4W15A	取替
●	調光スイッチ	取替

特記事項
1. 特記なき場合、配線器具用プレートはステンレス製とする。

注記
1. 図中、薄く示す照明器具及びスイッチの取替を行う。
2. 取付け方法及び取付け位置と高さについては監督職員の指示による。
3. 図中の ⊗ は JIL5004 公共施設用照明器具形式を示す。

1階平面図 1:100 【改修】

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	1階平面図【改修】	図面サイズ: A2
縮尺	1:100	図面番号 No. 6 (9枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所



LED用 埋込調光スイッチ

定 格	AC100V 160VA 位相制御 (2線式)
	ロータリー式 樹脂プレート・1Pスイッチ付

凡 例 (図中、薄く示すものは既設とする。)

記 号	名 称	備 考
●	埋込スイッチ 1P15A	取替
●L	埋込スイッチ 1P15A (確認表示灯付)	取替
●3	埋込スイッチ 3W15A	取替
●3L	埋込スイッチ 3W15A (確認表示灯付)	取替
●4	埋込スイッチ 4W15A	取替
●	調光スイッチ	取替

特記事項

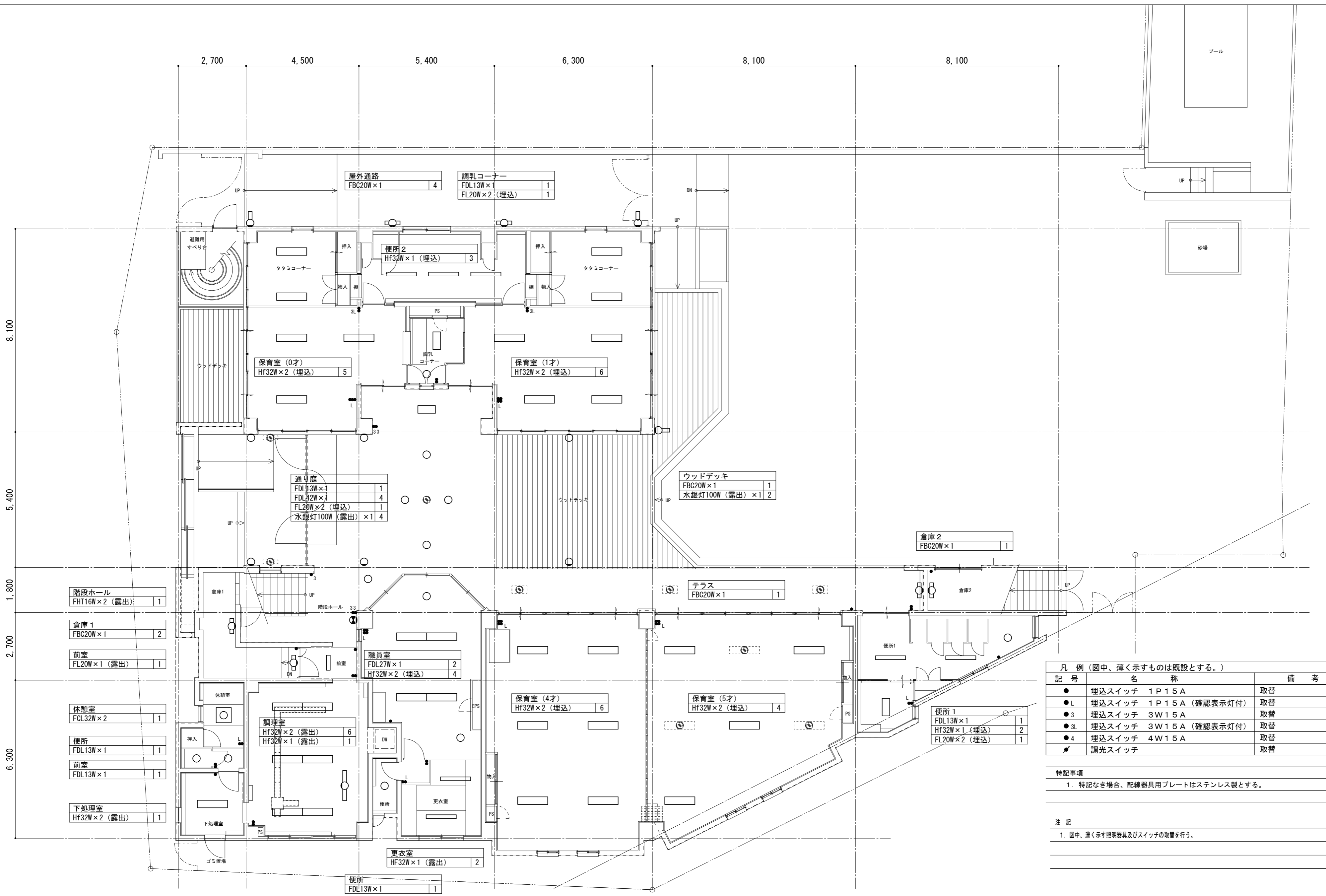
1. 特記なき場合、配線器具用プレートはステンレス製とする。

注 記

1. 図中、薄く示す照明器具及びスイッチの取替を行う。
 2. 取付け方法及び取付け位置と高さについては監督職員の指示による。
 3. 図中の ⊗ は JIL5004 公共施設用照明器具形式 を示す。

2 階平面図 1 : 100 【改修】

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	2階平面図【改修】	図面サイズ: A2
縮 尺	1 : 100	図面番号 No. 7 (9 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所



凡例 (図中、薄く示すものは既設とする。)

記号	名称	備考
●	埋込スイッチ 1P15A	取替
●L	埋込スイッチ 1P15A (確認表示灯付)	取替
●3	埋込スイッチ 3W15A	取替
●3L	埋込スイッチ 3W15A (確認表示灯付)	取替
●4	埋込スイッチ 4W15A	取替
●	調光スイッチ	取替

特記事項
1. 特記なき場合、配線器具用プレートはステンレス製とする。

注記
1. 図中、薄く示す照明器具及びスイッチの取替を行う。

1階平面図 1:100 【撤去】

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	1階平面図【撤去】	図面サイズ: A2
縮尺	1:100	図面番号 No. 8 (9枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所



凡例 (図中、薄く示すものは既設とする。)

記号	名称	備考
●	埋込スイッチ 1P15A	取替
●L	埋込スイッチ 1P15A (確認表示灯付)	取替
●3	埋込スイッチ 3W15A	取替
●3L	埋込スイッチ 3W15A (確認表示灯付)	取替
●4	埋込スイッチ 4W15A	取替
●	調光スイッチ	取替

特記事項
1. 特記なき場合、配線器具用プレートはステンレス製とする。

注記
1. 図中、薄く示す照明器具及びスイッチの取替を行う。

2階平面図 1:100 【撤去】

工事名称	〇〇保育所照明設備改修工事	令和 年度
図面名称	2階平面図【撤去】	図面サイズ: A2
縮尺	1:100	図面番号 No. 9 (9枚の内)
大阪市都市整備局 企画部施設整備課		設計事務所